

平成29年11月29日  
自動車局旅客課

## 平成28年度乗合バス事業の収支状況について

### 【全事業者の概況】

収 入 : 収入については、前年度と比較して0.5%の微増。  
支 出 : 支出については、前年度と比較して1.0%の微増。  
経常収支率 : 前年度から0.5ポイント悪化して96.5%。  
黒字事業者は89者〔81者〕で、調査対象事業者全体の36.2%〔34.0%〕。

(調査対象事業者は、保有車両数30両以上の246者〔238者〕)

(注) 調査対象事業者数は、ブロック毎の事業者数の合計の値であり、〔 〕内の数字は、2以上のブロックにまたがる事業者について、その重複を除き本店所在地で集計した結果の事業者数を示す。

国土交通省では、バス事業者や地方公共団体などが、経営・政策判断等を行う上での指標の一つとして活用できるための、乗合バス事業の収支状況について、調査・公表を行っています。(対象事業者は、保有車両数30両以上の事業者246者)

昨年度の収支状況の特徴としては、前年度と比較して、収支・支出ともに微増しているもののほぼ横ばいとなっています。

主体別の収支状況については、前年度と比較して、民営・公営ともに微減しているもののほぼ横ばいとなっています。(詳細は、別紙参照)

地域別の収支状況については、前年度と比較して、大都市部・その他地域ともに微減しているもののほぼ横ばいとなっています。(詳細は、別紙参照)

### 【問い合わせ先】

自動車局旅客課 寺内 早川

TEL : 03-5253-8111 (内線 41-233)

TEL : 03-5253-8568 (直通)

Fax : 03-5253-1636

## 1. 事業主体別の収支状況等について

- 民営バスの経常収支率は、収入よりも支出の増加幅が上回ったため、前年度に比べ減少（97.5%→97.2%）。
- 公営バスの経常収支率は、収入が減少し、支出が増加したため、前年度に比べ減少（95.1%→94.2%）。
- 公営バスの経常収支率（94.2%）が90%を超え、民営バスの経常収支率（97.2%）との差は、15年前と比べ大きく縮小。

## 2. 大都市部とその他地域について

- 大都市部の経常収支率は、収入よりも支出の増加幅が上回ったため、前年度に比べ減少（103.2%→103.1%）。
- その他地域の経常収支率は、収入よりも支出の増加幅が上回ったため、前年度に比べ減少（88.3%→87.4%）。
- 大都市部の経常収支率（103.1%）が、昨年度に引き続き100%を超え、その他地域の経常収支率（87.4%）との差は拡大。

※大都市部（三大都市圏）とは、千葉、武相（東京三多摩地区、埼玉県及び神奈川県）、京浜（東京特別区、三鷹市、武蔵野市、調布市、狛江市、横浜市及び川崎市）、東海（愛知県、三重県及び岐阜県）、京阪神（大阪府、京都府（京都市を含む大阪府に隣接する地域）及び兵庫県（神戸市及び明石市を含む大阪府に隣接する地域））ブロックの集計値。